

ユネスコ世界記憶遺産登録を目指して PRに全力 申請に向けて

引揚記念館収蔵資料の世界記憶遺産登録への取り組みを広く発信しようと、東京タワーでの特別企画展「引き揚げの記憶を舞鶴から世界へ」(2月8日～23日)や登録推進平和シンポジウム「シベリア抑留と引き揚げ 世界へ語り継ぐもの」(2月16日)を東京で開催し、取り組みのPRに努めました。

シンポジウムでは多々見市長が、「市民をあげて引き揚げに携わったまちとして、史実の継承と平和の尊さを一人でも多くの人に発信していきたい」とあいさつ。パネルディスカッションでは、NPO法人舞鶴・引揚語りの会の谷口理事長から署名活動など、まちをあげての活動も紹介されました。

今月、ユネスコに申請して平成27年の登録を目指します。

①②多くの来場者が訪れた特別企画展 ③シンポジウムであいさつする多々見市長
④満席のシンポジウム会場 ⑤有識者等によるパネルディスカッション



「引き揚げ」の記憶を次世代へ

引揚記念館に展示・保管している海外からの引き揚げやシベリア抑留などに関する約1万2千点の資料の中から、今回は「火打ち石」を紹介します。

シベリアでは真冬になると気温がマイナス30℃以下になることも多く、抑留された人々は、極限の寒さに耐えるために焚き火をしたり、水筒の水を温めて湯たんぽの代わりにするなどさまざまな工夫をして暖を取っていました。

当初、暖を取るために必要な火はマッチやライターなどでおこしていましたが、それらを使い果たしてしまうこともありました。

当館に展示されている火打ち石の寄贈者は抑留中、主に木の伐採作業にあたっていました。極寒の中での作業は、寒さのためにすぐに指が白く変色し、凍傷になるため何度も手をこすり温めるのですがそれでも十分ではありません。そのため火をおこして暖をとっていましたが、持っていたマッチが底をついたため、火打ち石を作ることを思いついたの



▲「火打ち石」と手作りの着火道具、収納袋

です。火打ち石で火をおこすための材料は、着火のための綿を衣服から抜き取り、金具は工場で拾った金属の破片を使用し、火花を起こす石は河原で探すなど身の回りにあるもので調達しました。

完成した火打ち石でおこした炎に日本の家族の姿を思い浮かべ、いつかきっと帰れると自分自身を励ましたそうです。その炎は、極寒の抑留生活で疲弊した心身を温めただけでなく、いつの日か祖国に帰ることへの希望の灯でもあったのです。

▶詳しくは、引揚記念館(☎68・0836)へ。

はじまりは海 「海の総合展」

海フェスタ京都開催情報 第1弾!

7月19日(土)～8月3日(日)に舞鶴を中心に府北部5市2町で行われる海の祭典「海フェスタ京都」。このメインイベントのひとつとして赤れんがパーク一帯で「海の総合展」を開催します。

海や港への理解を深めて、海をより身近に感じてもらうため、海運・船舶・気象・海の安全・観光などをテーマに海の恩恵と魅力を紹介します。



▲メイン会場となる赤れんがパーク(左)、展示を予定している平成10年に発見された丸木舟(右)

海に面した京都府北部と海との関わりを歴史的視点からストーリー仕立てに展示・紹介するほか、海に関するセミナー、海事関連施設の見学ツアーなども予定しています。

今後、詳細が決まり次第、ホームページや広報まいつるなどで紹介していきます。

主な概要

【日時】 7月19日～8月3日、9時～17時

【場所】 赤れんがパーク一帯

【展示内容】

- ◆ 縄文時代の交易
 - ◆ 大陸との交易拠点「丹後王国」
 - ◆ 北前船で栄えた丹後
 - ◆ 海軍と海軍工廠で栄えた舞鶴
 - ◆ 豊かな海洋資源
 - ◆ 水害に強い津波救命艇 など
- ※内容を変更する場合があります

▼詳しくは、舞鶴市海フェスタ京都推進本部(企画政策課内、☎66・0028)へ。

舞鶴ならではの魅力を発信

海軍ゆかりのまち・舞鶴をPR

海フェスタ京都の開催に合わせ、海軍とともに発信してきた舞鶴をPR。

海軍ゆかりを 感じる

海軍ゆかりを

感じる

海軍ゆかりで

遊ぶ

遊ぶ

◆海軍ゆかりの港めぐり遊覧船
3月21日～11月30日の土・日曜日と祝日、赤れんが棧橋発着。ゴードンウイークやお盆、海フェスタ京都の開催期間中は毎日運航(11時から1時間ごとに計4便)。料金は大人1,000円、小人500円。

◆海軍ゆかりのぶらぶらまち歩き
4～6月の土・日曜・祝日、10時30分から13時30分まで。赤れんが3号棟集合。旧海軍ゆかりの施設を巡る(ガイド付き)。参加費500円。予約不要。※10分前に集合

◆海軍ゆかり展2014
3月21日(祝)～6月30日(月)9時～17時、赤れんが3号棟。舞鶴鎮守府の初代司令長官・東郷平八郎や旧海軍と海軍とともに歩んできた舞鶴の歴史などを紹介。

◆海軍の料理レシピを参考にした「海軍グルメ」が食べられる店舗や土産品などを紹介(3月21日からスタート予定)。

◆詳しくは、観光商業課(☎66・1024)へ。

◆詳しくは、観光商業課(☎66・1024)へ。

海フェスタ京都

「まいつるまち博」 参加店と企画スタッフを募集

海フェスタ京都の開催に併せ、舞鶴の魅力を紹介する「まいつるまち博」の参加店と企画スタッフを募集。

【参加店】

- ◆限定のメニューやサービスの提供
- ◆ワークショップなどの体験会
- ◆ツアーガイド など

【企画スタッフ】

- ◆同事業の企画や運営に参加する意欲のある人

【申し込み方法】

申込用紙(観光商業課に備え付け。ホームページからダウンロード可)で郵送かファクス(62-9891)、電子メールで。

【問い合わせ先】

観光商業課(☎66・1024)